

第307回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年4月21日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
執行役員編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	
	竹石 尚史
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	鈴木 英門

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「T e N Y × 記念日 かなえるテレビ」

〔放送：3月29日（土）13:30-14:25〕

（説明：番組プロデューサー 鈴木 英門）

2) 会社報告

①平成25年度視聴率 (報告：編成部長)

②4月期の番組編成 (報告：編成部長)

③放送番組の種別報告及び放送番組の種別ごとの放送時間報告
(2013年10月～2014年3月) (報告：編成部長)

④3月の視聴者の意見。 (報告：番組審議会事務局)

⑤講じた措置、公表など定例報告等。(報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組の成り立ちは社内の番組企画募集の中から選ばれた企画であり、番組コンセプトとしては視聴者の夢や願いをかなえることで、T e N Y という放送局と視聴者が繋がってゆくことを目的としている旨の説明があった。

また、初めて取り組む企画であり、番組やHPで募集した結果、最終的に5件の願いをかなえることとなり、何ができるのか、応募した視聴者とともに話し合っ形にしていった、最後にみんなの笑顔が見られることを期待しながら試行錯誤した、などと制作の過程についての説明もあった。

- 個人ではかなえられないこと、ささやかだけれども、周りの協力で一步すすめるものを丁寧に取り上げていた。
- オムニバスで5組が次々と登場したので、もう少し知りたい部分もあったが、色んな人が色んな夢を語って、笑顔で終わっていったので、見終わって、さわやかな感じがした。
- テレビで夢を語れる、人の夢に共感して幸せになるのは、とてもいいことで、ほっこりとした気持ちで見え終えて、T e N Yがそばにいる感じでよいなと思った。
- 今でもバス大好き坊やがいてくれることに安心した。昔ながらの大好きなことにトコトンという子がいてくれてほっとした。
- 5組の中で、前半の2件はよかったが、後半の3件は前半と比べると、話として弱い感じがした。子供に嫌いなものを食べさせるのが「キャラ弁」という解決はどうなのか？と、しつけという問題もあり、気になった。
- 「記念日」という意味は？その辺りがわかりにくかった。
- 夢をかなえてもらいたい人、それをかなえる人、双方が一生懸命。加えて、間をとりもつアナウンサーの献身さや夢を引き出すためのトーク（シーンやセリフ）も想いが伝わってきた。
- みんなのそばにT e N Yがいるよということを感じさせてくれたので、いつかまた、続きをやってもらいたい。
- ブラジルにいる友人に、遠くへメッセージを伝えるわりには、アナウンサーがあつという間に行ってしまい、わざわざブラジルへ行った感がせず、もったいなく感じた。
- いじわるな言い方をすれば、5つの話は究極の依怙夤夤だが、心がざらつかずに見ることができた。一方で、作った記念日で

あって、それがお手伝いなのだろうが、どこかに必然性があると、選ばれたことに納得することができただろう。

●決して自分ではできないものではない、お金や時間、周りの協力があれば、自分でかなえられるものを逆に選んだのかな？と。全くできないことを取り上げるわけにはいかないの、そのような選び方をしたのかなと感じた。

●やはり、ブラジルまで本当に行ったの？と。行ったイメージが残らなかった。外国らしさがほとんどなく、せつかなのにもったいない。

●5つのテーマの軸の次元が違うので、通しての意見は難しい。さっと見ている分には、「なるほど」と過ぎてしまうが、ちょっと深く裏へ入っていくと、それぞれが非常に深い社会的意義があって、年齢の差で感じ方に差があったのではないかと思う。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

3月…… 115件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年3月24日)から昨日(平成26年4月20日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第306回審議会では

「世界で夢をつかめ～追跡！新潟人の挑戦」

を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第 307 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 3月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 民間放送新聞（3/26、4/3、4/13号）
- ・ BPO報告 NO.133

以上